

【特集】インターネットを安全・安心に使うために

今や、インターネットと共に暮らす時代。しかし、インターネットを安全・安心に使うためにはさまざまな知識や対策が必要です。そこには、難しい言葉やあいまいな定義、複雑な料金プランや複数の契約が存在します。私たちの生活を便利にするためのインターネットが、消費者被害や個人情報の漏えいにつながることもあります。苦手意識がある方も、日頃から生活の一部としてインターネットを使っている方も、今一度インターネットを安全・安心に使うためには何が大切かを考えてみましょう。

「インターネット」ってなに？

世界中のコンピュータなどの情報機器を接続するネットワークのこと。

「プロバイダー」ってなに？

正式には「インターネットサービスプロバイダー」といい、インターネットに接続できるサービスを提供する事業者のこと。通常、電子メールを送ったり、ホームページを閲覧したりするには、プロバイダーと契約する必要があります。



「Wi-Fi」ってなに？

ケーブルを使わず無線通信(ワイヤレス)でデータをやり取りする仕組みのひとつ。スマートフォンやタブレットなどの普及により、職場や家庭に限らず、空港、駅、ホテル、学校、図書館といった、さまざまな場所で利用できる環境が増えてきています。



インターネットを安全に利用し、楽しむために

- 契約書や機器の説明書を必ず読む
- OSやソフトウェアはアップデートで最新の状態にする
- パソコンやスマートフォンにウイルス対策ソフトをインストールする
- パスワードは推測しにくいものにして、他人には教えない
- 外付けハードディスク、USBメモリなどの外部記録媒体やクラウド(ネット上にデータを保存したり、アプリの提供を受けられるサービスのこと)にバックアップを保存する
- 差出人に心当たりのない電子メールに添付されたファイルを開いたり、URLをクリックしたりしない
- 一部の利用を制限する設定・サービスをうまく活用する(例: フィルタリング、国際電話発信規制サービス、外出先からの接続制限など)

